

令和3（2021）年3月9日

独立行政法人都市再生機構

東日本都市再生本部

警視庁から感謝状を授与 ～渋谷駅周辺交通対策検討会に係る取組みを評価～

独立行政法人都市再生機構（以下、UR都市機構）と東急株式会社（以下、東急）は、「渋谷駅周辺交通対策検討会」での8年間の事務局運営の功績が高く評価され、令和3年3月8日（月）に警視庁から感謝状を授与されました。

渋谷駅周辺エリアでは、現在、100年に一度と言われる大改造が進んでおります。東急の共同施行者としてUR都市機構が事業を進めている渋谷駅街区土地区画整理事業をはじめ、渋谷ストリーム、渋谷フクラス、桜丘口地区再開発、国道246号線改良、首都高3号線入口新設の他、JR東日本、東京メトロによる鉄道改良事業など、官民一体となって多数の事業が同時並行で進められています。

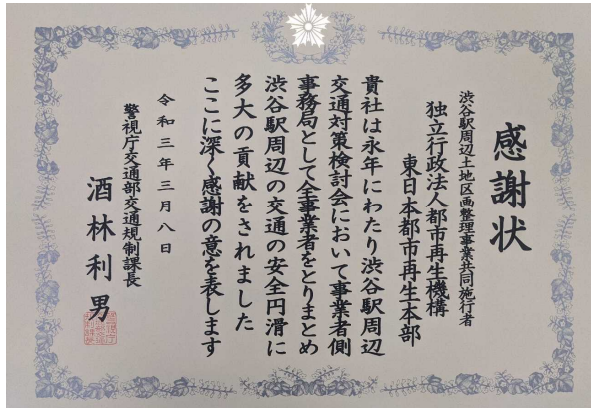
これら輻輳する工事を進めるにあたっては、各工事間での調整はもとより、道路使用や通行止めなど道路管理者の自治体、交通管理者の警察との協議・手続きが不可欠となっており、安全に各工事を進めていくため、平成25年2月に、警視庁交通規制課長を座長に道路管理者や事業者、交通事業者が一堂に会する「渋谷駅周辺交通対策検討会」が発足しました。この「渋谷駅周辺交通対策検討会」の事務局運営をUR都市機構と東急が担い、その功績が評価され感謝状が贈られたものです。

引き続き、渋谷駅周辺の工事が安全に進められるように、関係各所と連携しながら取り組んでまいります。

交通規制課長感謝状贈呈式の様子



感謝状



お問い合わせは下記へお願いいたします。

独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部

総務部 総務課 (広報担当)

(電話) 03-5323-0628

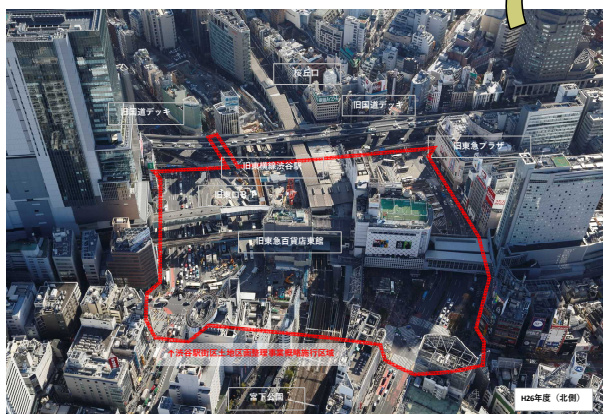
●「渋谷駅周辺交通対策検討会」について

検討会では、輻輳する工事全体を把握し、安全かつ円滑に工事を進め、スムーズな道路交通を確保するため、その対策方法を検討し、工事の実施方針を決定しています。現在、平成25年2月の第1回から第16回まで開催し、工事用車両の路上待機防止、幹線道路である国道246号一時通行止めや明治通りの夜間通行止めなどの交通規制や迂回路設定、また規制の事前広報方法の調整など様々な取組みを行ってきました。

オリンピック東京2020大会を目標に各事業者が協力し合い、渋谷駅周辺エリアの整備も大きく進めてきたところです。

渋谷駅周辺の開発状況（平成26年度→令和2年度）

【渋谷航空写真（北側）】



【渋谷駅周辺での主なトピックス】

平成 27 年 5 月 東口バスターミナル移設

平成 27 年 8 月 渋谷川移設

平成 30 年 9 月 渋谷ストリーム開業

令和元年 3 月 東京国道事務所による国道 246 号線の東口歩道橋供用開始

令和元年 11 月 東口地下広場供用開始、スクランブルスクエア東棟開業

令和元年 12 月 渋谷フクラス開業、首都高 3 号線入口開通

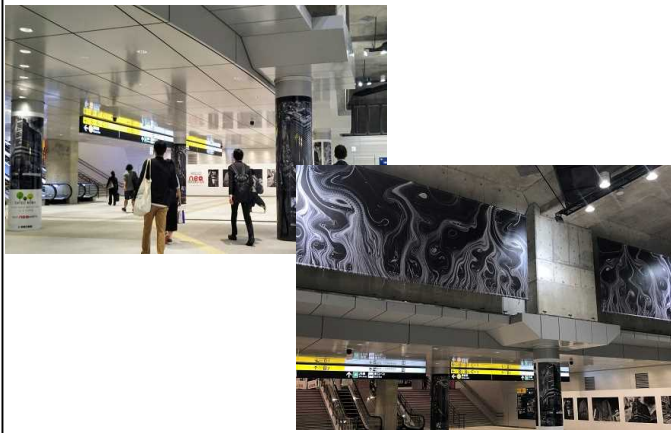
令和 2 年 1 月 東京メトロ銀座線ホーム移設

令和 2 年 5 月 JR 埼京線ホーム移設で山手線と並列化

令和 2 年 7 月 東京国道事務所による国道 246 号線の歩道橋供用開始

令和 2 年 8 月 渋谷駅東口地下貯留槽供用開始

令和元年 11 月にオープンした東口地下広場



令和 2 年 8 月に供用開始した雨水貯留施設



渋谷駅街区土地区画整理事業ホームページ <http://re-shibuya.jp/>

渋谷周辺の動向 <https://shibuyaplusfun.com/>